

# 沖縄-東海ヨットレース 2016 通信要領

通信担当

レース参加艇の動静把握のため通信衛星等を利用した通信により、以下の要領でロールコールを実施する。

レース本部からの呼び出しに常に応答できる状態を保たなければならない。また、海上保安当局等からの情報聴取のため海上では Ch16 を常時ワッチすること

## 1. 通話テスト

以下の方法により通信機器の作動テストを行う

### 1.1 国際 VHF

4月28日(木) 安全講習会の当日8:00~8:20の間に、下記表 2.1 のセール番号順に順次交信し、機器の操作および作動状況を確認すること

手順は、Ch74で、先ず、「1122TREKKEE」が「KLC Bengal 7」をコール、次に「KLC Bengal 7」が「有朋丸」をコールする方法で順次実施する。

### 1.2 衛星通信

4月28日(木) 安全講習会の当日8:20~8:50の間に各艇から、電子メールを送信またはロールコール用電話を呼び出して、機器の操作方法、通信状況を確認すること

電子メールは、レース本部で受信後に返信メールを送信することで、通信の確立を確認したものとする。

★ ロールコール用電話番号:090-2943-2166 (林)、(予備)090-6585-5835

★ 電子メールアドレス:rollcall@toscj.jp

## 2. ロールコール

下記表 2.2 のそれぞれの指定時間帯において、原則として、電子メールアドレスへ送信して行い、衛星携帯電話の場合にはロールコール用電話を呼び出して行う

定時ロールコールが確立できなかった場合には、理由を明確にして随時通報すること

4時間以内に確立しない場合には、その回数毎にペナルティ(所要時間に10分ずつ加算)を科すことがある。

なお、陸上携帯電話が利用できる時は、この使用も可とする。

### 2.1 艇名一覧

No.	セール番号		艇名
1	JPN	1122	1122TREKKEE
2	JPN	4321	KLC Bengal 7
3	JPN	6349	有朋丸 (ゆうほうまる)
4	JPN	6687	Joker
5	JPN	6757	MANDAY NIGHT

### 2.2 定時ロールコールの指定時間帯

4月29日	4月30日~5月8日
20:00~20:30	6:00~6:30
	14:00~14:30
	22:00~22:30

レース展開によりロールコールが不要となった場合は、上記時刻を変更することがある。

## 2.3 ロールコールの確立期間

フィニッシュするまでの間

リタイアした場合は、レース本部へ通報した後に避難港に入港するまでの間とする。

## 2.4 ロールコールの内容

### 2.4.1 電子メールによる送信例

- ① セール番号（数字のみ）
- ② 指定正時での位置（北緯、東経の順）で度・分まで
- ③ 風速、風向

（入力例）数字のみ、項目の区切りはスペースとする。

セール番号 5555、北緯 30 度 48 分、東経 132 度 25 分、風速 15 ノット、風向 320 度  
⇒ 5555 3048 13225 15 320

\* 電子メールは、音声通話より通信性能が高く、相手方のアドレスを記録しており、一度入力すれば、次回からは数値の入力で済むのでこの方法を推奨する。

\* 通信担当者は、別途通知するアドレスへテスト送信し、実際の手順を事前に確認することを勧める。

衛星携帯電話機の本体が無くても、スマートフォン等を使用して試してください。

### 2.4.2 衛星携帯電話での通話例

- ① セール番号、艇名、オペレーター名
- ② 指定正時での位置（北緯、東経の順）で度・分まで
- ③ 乗員、艇体の様子
- ④ 艇速、艇方位、風速、風向
- ⑤ 乗員、艇体の様子など

\* 通話は、音声は2秒程遅れる時差が生ずるので、ゆっくりと話す方が聞き取り易い

## 2.5 位置情報等の提供

ロールコールで収集した各艇の位置情報等は、公式ホームページで公開することがある。

## 3. フィニッシュ予定通告

フィニッシュする艇は、フィニッシュの約1時間前にレース本部へ見通し時間を通告すること。

## 4. リタイア時等の通報

4.1 リタイアした日時、場所、理由、乗員艇体の異常の有無、避難港への到着予定時刻、気象・海象をレース本部に通報し、入港後もその旨をレース本部へ報告しなければならない。

4.2 乗員艇体等に異常が生じた場合には、可能な通信手段で通信するものとする。

以上